



大学幹部の皆様との全学懇談会 開催

令和3年9月14日、オンラインによる「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業 全学懇談会」を開催致しました。学長をはじめとする役員の皆様12名に加え、各学部の教職員、事務補佐員28名が参加いたしました。

昨年度はランチをとりながらの懇談会を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止せざるを得ませんでした。今年度も対面かオンライン開催かと逡巡致しましたが、この1年間の経験をもとに、オンラインで開催する運びとなりました。懇談会は、石崎学長のご挨拶に続き、役員の皆様から自己紹介をいただきました。その後は、ブレイクアウトセッションによる交流の場を設け、役員の方1～2名に各ルームへ入室していただき、はじめはこちらが参加者の方を決められたルームに分けさせていただき形で懇談が始まりました。話が活発になると他のルームへの移動が難しかったところもありましたが、事後アンケートでは「キャンパスの距離を感じることがないので、とても良い」、「大学幹部の皆様と活発な意見交換が出来て、とても有意義な時間を過ごせた」、「思っていた以上に1時間があつという間で、垣根を越えた交流の機会は貴重」等、たくさんのご意見を頂戴いたしました。また「時間が足りなかった」、「ランチをとりながらの雰囲気づくり」等の課題点も挙げていただき、今後、ウィズ・コロナでこのような活動を行っていくためのご示唆をいただく好機となりました。

本懇談会は、ダイバーシティ推進センターの前身から続くもので、普段はあまり交流のない役員の皆様と教職員や学生が直接会する貴重な機会として企画しております。今後も皆様にご覧のような場に心地よく参加していただけるよう、頂いたご意見を参考により良い会を開催して参りたいと思います。



発行

国立大学法人群馬大学
ダイバーシティ推進センター

〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

TEL: 027-220-7146

FAX: 027-220-7143

mail:kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp

HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/



2021.11

vol.27

女性の活躍推進に関する情報公表

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく国立大学法人群馬大学行動計画」では、学内環境の整備，男女共同参画を一層推進し，大学運営意思決定への女性の参画拡大を進めています。

令和2年度に採用した労働者に占める女性労働者の割合

【常勤】

区分	全採用者数	うち女性採用者数	採用者に占める女性の割合
大学教員	75	18	24.0%
附属学校教諭	20	11	55.0%
事務・技術系職員	45	25	55.6%
医療技術職員	26	17	65.4%
看護職員	88	79	89.8%
総計	254	150	59.1%

【非常勤】

区分	全採用者数	うち女性採用者数	採用者に占める女性の割合
期間業務※1	13	8	61.5%
パート※2	133	94	70.7%
医員・臨床研修医	171	55	32.2%
非常勤講師	220	63	28.6%
総計	537	220	41.0%

※1 医員除く

※2 医員・臨床研修医、TA・RA、研究活動支援者を除く

管理職に占める女性労働者の割合

	全体	うち男性	うち女性	女性比率
管理職	53名	43名	10名	18.9%

令和3年4月1日現在

役員に占める女性の割合

	全体	うち男性	うち女性	女性比率
役員	9名	8名	1名	11.1%

令和3年4月1日現在

男女の平均継続勤務年数の差異

【常勤】

単位(年)

区分	男	女	総計
大学教員	14.7	11.8	14.2
附属学校教諭	2.9	2.9	2.9
事務・技術系職員	19.1	11.2	16.0
医療技術職員	11.5	10.0	10.7
看護職員	8.1	9.4	9.3
総計	14.1	9.7	11.7

【非常勤】

単位(年)

区分	男	女	総計
パート※1	10.2	12.0	11.9
医員	9.0	10.2	9.5
総計	9.1	11.6	11.1

※1 医員・臨床研修医、TA・RA、研究活動支援者を除く



科研のための情報サロン 開催

令和3年8月5日、ZOOMによる「科研のための情報サロン」を研究推進係と共催で開催しました。登壇者は、ダイバーシティ推進センター共同研究助成の採択者で、科学研究費助成金の獲得に結び付けた先生方、吉田由香里先生（重粒子線医学研究センター助教）、村岡貴子先生（理工学府分子化学部門准教授）、能美由希子先生（共同教育学部特別支援教育講座助教）の3名でした。当日は、外国人の先生も含めて56名が参加しました。

内容は、医学・理工・人文系のそれぞれのお立場からの説得力のある具体的なアドバイスや科研獲得へのご苦労が語られ、飯塚朗URAから「基盤B・C・若手研究における審査委員に着目した科研費申請書の書き方」について詳しい説明があり、実施中のURA科研コメントサービスについても案内がありました。

アンケートでは、85.7%が非常に有益、有益と回答し、来年度の開催に85.7%が参加したいとの回答を得ました。登壇者の先生方のお話が大変参考になったこと、科研の獲得に向けたヒントが得られたことが評価されました。ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業としての初めての試みでしたが、充実した内容に、科研へのモチベーションが上がったと好評でした。





理工学部WEBオープンキャンパス開催

令和3年7月20日～8月2日に開催された群馬大学WEBオープンキャンパス理工学部コンテンツ内において女性生徒応援プログラム「教えてセンパイ！」を公開いたしました

(現在一般公開中 URL:https://www.gunmau.ac.jp/web_oc_2021/html/st_002.html)

理工学部の女性学生6名に12の質問(群馬大学を選んだ理由、高校時代に効果的だった勉強方法、受験の心構え、大学の授業や生活、アルバイト、卒業後の進路、受験生に向けての応援メッセージなど)に答えてもらいました。

ページ下段には追加情報として、理工学部の女性学部生の入学者割合、進学率、主な就職先、保護者が知りたい群馬大学のこと、も掲載しました。

昨年度に続き、今年度もWEB開催となりましたが、メリットとしては全国どこからでも参加、閲覧できるため、より多くの方に情報をお伝えできる機会になりました。



第9回ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク会議 開催

令和3年10月20日、第9回ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク会議をオンラインで開催し、会員機関代表者10名、群馬県生活こども課1名、群馬大学関係者7名が出席しました。自己紹介から始まり、審議事項では、次の会長校は群馬大学が再任(副会長、会場校については引き続き検討)、今後の会議形式はオンライン、連携機関として群馬県生活こども課男女共同参画室の加入、などが了承されました。また、報告事項として、各会員機関から情報共有事項の説明や、群馬県から講座や活動の案内がありました。会議終了後は、群馬県立女子大学小林良江学長による講演会「地域における女性リーダー」をオンラインで開催し、本ネットワークの会員機関の教職員、学生が64名参加しました。大学と地域(自治会)の2つの観点から、それぞれの女性リーダーの割合や特徴、今後の課題などについてお話いただきました。

今後もオンラインの開催となりますが、どこからでも参加可能というメリットを活かしながら、ネットワークの繋がりを続けていきたいと思っております。

